



# 今までありがとう

## アカガシラカラスバトのP-0857(オス)

死亡年齢：19歳以上

飼育期間：19年

死亡日：2020年9月19日



2001年3月4日に小笠原諸島の父島で保護され、  
同年3月7日に当園に来園しました。  
動物園で初めて飼育をしたアカガシラカラスバト3羽の  
うちの1羽で、その後繁殖し、飼育個体群形成に  
貢献してくれました。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021年  
動物慰霊祭



# 今までありがとう

## ジャワマメジカのマメジイ(オス)

死亡年齢：18歳5か月

飼育期間：18年

死亡日：2020年10月16日



2002年5月13日に当園で生まれました。  
偶蹄類の中でもっとも小さく特徴のあるすがたを、昼夜  
逆転した「夜の森」でじっくり観察させてくれました。  
マメジイは、国内最後の飼育個体でした。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021年  
動物慰霊祭



# 今までありがとう コツメカワウソのアミン (オス)

死亡年齢：13歳7か月

飼育期間：11年

死亡日：2021年2月7日



2007年6月13日にマレーシアのマラッカ動物園で生まれ、  
2009年11月21日に当園に来園しました。  
高い遊泳能力や、採食の様子から、コツメカワウソの  
生態を多くの人に伝えてくれました。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021年  
動物慰霊祭



# 今までありがとう

## アイアイのトゥニー（メス）

死亡年齢：2歳10か月

飼育期間：2年

死亡日：2021年2月16日



2018年3月30日に当園で生まれました。  
母親の「ソア」にとって10番目の子でした。  
出産経験豊富な母親の育児によりすくすくと育ち  
ましたが、残念ながら腎不全で死亡しました。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021年  
動物慰霊祭



# 今までありがとう アジアゾウのダヤー (メス)

死亡年齢：推定 44 歳

飼育期間：36 年

死亡日：2021 年 3 月 9 日



1977 年ごろ (推定) にインドで生まれ、1984 年に同国の  
インディラ・ガンジー首相 (当時) から日本政府に寄贈  
され、同年 9 月 20 日に当園に来園しました。群れの中  
中で体がもっとも大きく、頼られる存在でした。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021 年  
動物慰霊祭



# 今までありがとう

## コビトカバの昭平ショウヘイ (オス)

死亡年齢：30歳3か月

飼育期間：29年

死亡日：2021年3月17日



1990年11月19日に名古屋市東山動植物園で生まれ、  
1991年12月2日に当園に来園しました。9頭の子を  
もうけ、国内のコビトカバ飼育個体群形成に  
貢献してくれました。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021年  
動物慰霊祭



# 今までありがとう 見島牛の初春（オス）

死亡年齢：13歳2か月

飼育期間：12年

死亡日：2021年3月22日



2008年11月27日に山口県萩市見島から当園に  
来園しました。「子ども動物園すてっぷ」で  
その姿から日本古来の小型牛の特徴を  
子どもたちに教えてくれました。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021年  
動物慰霊祭



# 今までありがとう カピバラのマオ (メス)

死亡年齢：13歳10か月

飼育期間：10年

死亡日：2021年5月10日



2007年6月27日に埼玉県こども動物自然公園で生まれ、  
2010年7月13日に当園に来園しました。  
「子ども動物園すてっぷ」で、水辺でくらす  
世界最大のネズミの仲間というユニークな  
生態を子どもたちに伝えてくれました。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021年  
動物慰霊祭





# 今までありがとう

## ヤブツカツクリ (オス)

死亡年齢：27歳9か月

飼育期間：27年


死亡日：2021年5月11日



1993年7月28日に当園で誕生しました。  
繁殖期には首のまわりにある黄色い肉垂れが立派になり、メスにアピールをしていました。落ち葉や土を  
けり上げて作る塚は直径約4メートル、  
高さ1メートルもの大きさでした。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021年  
動物慰霊祭



# 今までありがとう ライチョウ (オス)

死亡年齢：3歳11か月

飼育期間：3年


死亡日：2021年6月27日



2017年6月19日に大町山岳博物館で産卵され、  
卵の状態でご園へ移動、7月14日に孵化しました。  
2019年3月から一般公開され、ニホンライチョウの  
保全プロジェクトについて多くの方に  
伝えてくれました。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021年  
動物慰霊祭





# 今までありがとう マレーグマのモモコ (メス)

死亡年齢：30歳11か月

飼育期間：13年

死亡日：2021年8月21日



1990年9月20日にマレーシアのマラッカ動物園で誕生し、  
2008年2月20日に当園に来園しました。木登りが  
上手で、隠したえさを見つける名人でした。  
8頭もの子を産み、飼育個体群形成にも  
貢献しました。国内最高齢でした。

 UENO ZOOLOGICAL GARDENS

2021年  
動物慰霊祭